

科 目 名	学年	期別・授業形態・単位数	教員名 四蔵茂雄
地球環境政策学 Policy of global environment	2	必修 前期・講義・2単位	研究室 B棟3階 (B-316)
			内線電話 8986
			e-mail: shikura@maizuru-ct.ac.jp
授業 (30 時間) + 自己学習 (60 時間) = 標準 90 時間の学習時間			
科目到達レベル: <input type="checkbox"/> 1. 知識・記憶 <input type="checkbox"/> 2. 理解 <input type="checkbox"/> 3. 適用 <input type="checkbox"/> 4. 分析 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 評価 <input type="checkbox"/> 6. 創造			
<p>【授業目的】 この授業では、今日地球規模で生じている環境問題について講義する。また、これらの環境問題に対してとられる対策について述べる。特に、温暖化防止対策として試みられている排出権取引や CDM 等の経済的手法に重点をおいて解説する。また、その背景となる経済理論に対する理解を深めてもらう。さらに LCA や環境経済評価についても触れる。演習課題では、青葉山のオオキンレイカや尾瀬沼湿原、屋久杉等の貴重な自然や生態系の経済価値を計測する。</p> <p>【Course Objectives】 Objectives of this course are to understand a mechanism and present state of the global environmental issues, and to understand policy measures for them, especially one for global warming.</p>			
【到達目標】			
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地球レベルの環境問題について、発生メカニズムと現状を理解し説明できる。 2. 環境問題の発生を経済学的観点から説明できる。 3. 環境政策の枠組みを理解し説明できる。 4. 温暖化防止政策を理解し説明できる。 			
<p>【学習・教育到達目標】 (F) 技術が持つ地球的、社会的影響の重要性と技術者の倫理的責任を理解し、説明することができる。</p>			
<p>【キーワード】 人口問題、温暖化、社会的余剰、環境政策、ライフサイクルアセスメント、環境経済評価 Population problem, global warming, social benefit, policy measures, LCA, economic evaluation of environment,</p>	<p>【授業時間】 2 時間 (90 分) × 15 週 = 30 時間 (22.5 時間)</p>		
<p>【授業方法】 講義を中心に進める。講義は基本的に板書で行う。適宜スライドも併用する。学習内容の理解を深めるため、演習問題/課題をやってもらう。</p>	<p>【学習方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 予習と復習を行う事。 2) 授業中は講義ノートをきちんととり理解すること。 3) わからない事は質問すること。 4) 課題のレポートは期限内に提出すること。 <p>自己学習課題 1 「地球温暖化」 自己学習課題 2 「世界の人口問題」 自己学習課題 3 「生物多様性の問題」</p>		
<p>【履修上の注意】 予習と復習を行う事。</p>	<p>【科目の位置付け】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先行して履修すべき科目 なし 2. 後で履修する関連科目 なし 3. 同時に履修する関連科目 なし 		
<p>【定期試験の実施方法】 定期試験を実施する。試験時間は 50 分とする。</p>			
<p>【成績の評価方法・評価基準】 定期試験の成績 70%、レポート課題の成果 30%で総合評価する。なお、全ての課題のレポートが提出されない場合、総合評価は 59 点以下とする。</p>			

【教科書・教材等】			
教科書： なし プリントを配布する。			
教材： なし			
【参考書・参照 URL 等】			
参考書：地球環境問題と環境政策に関する図書は数多くある。また、最新のデータはインターネットで入手できる。			
【授業計画】			
週	内 容	到達目標	教科書参照ページ
第1週	シラバス内容の説明、		
第2週	地球環境問題(1) 環境問題の連関、人口問題と経済発展	2	
第3週	〃 (2) 途上国の環境問題	2, 3	
第4週	〃 (3) 現状把握と評価	2, 3	
第5週	〃 (4) 温暖化とそのメカニズム	2, 3	
第6週	環境政策概論 環境管理手法の種類と特徴	2, 3	
第7週	経済的手法(1) 価値と効用、社会的余剰、	2, 3	
第8週	〃 (2) 外部不経済	1	
第9週	〃 (3) 環境税、コースの定理、	1	
第10週	〃 (4) デポジット制度、	2, 3	
第11週	〃 (5) 排出権取引と京都議定書、	1	
第12週	その他の手法(1) ライフサイクルアセスメント (LCA)	2, 3	
第13週	〃 (2) 国際的取り組み	2, 3	
第14週	〃 (3) 環境の経済評価	1	
第15週	経済評価演習その1、	1, 2, 3, 4	
第16週	〃 その2、	1	
★定期試験			
定期試験返却・到達度確認			
【自己学習】			
週			
第1週	}	〔演習課題1〕 第1週～5週における演習課題1 「地球温暖化」	
第2週			
第3週			
第4週			
第5週			
第6週	}	〔演習課題2〕 第6週～10週における演習課題2 「世界の人口問題」	
第7週			
第8週			
第9週			
第10週			
第11週	}	〔演習課題3〕 第11週～15週における演習課題3 「生物多様性の問題」	
第12週			
第13週			
第14週			
第15週			
【学生へのメッセージ】			
今、地球で何が起きているか？そしてそのためにどんな対策が採られようとしているか？地球環境保全の政策対応は、今最もホットで革新的な試みが進展しつつある分野である。あっと驚くような仕組みが進展しつつあることを、君たちは知りたいと思わないか？			